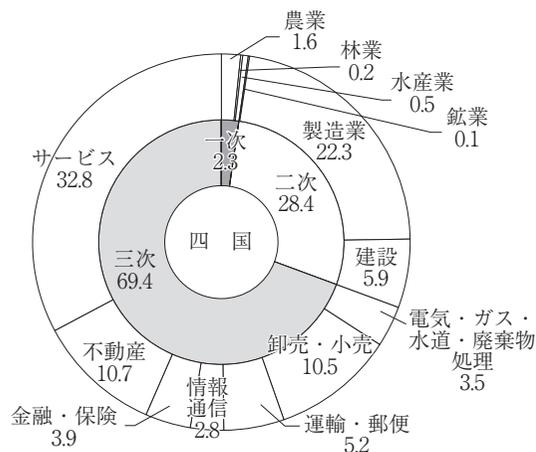


VIII. 四 国 財 務 局

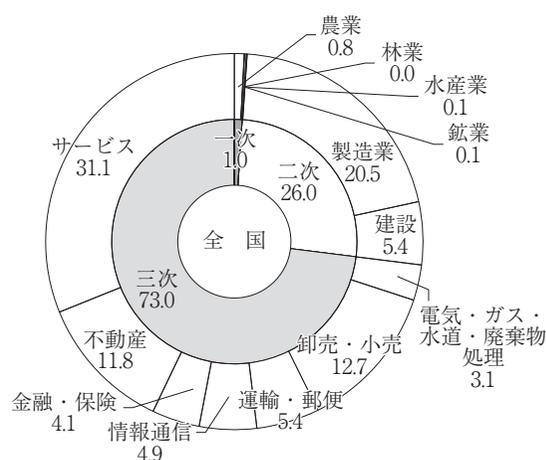
1. 四国地方の経済構造

四国地方の全国県民所得シェアは2.6%。経済構造は、第1次産業及び第2次産業の割合が全国より高くなっている。産業別構造は、非鉄金属（13.6%、全国3.1%）、紙・パルプ（9.1%）、化学（11.4%）などの割合が全国よりも高くなっているほか、発光ダイオードなどの特定品目において、生産シェアが世界トップクラスとなっている企業もある。地場産業では、愛媛県のタオルや香川県の手袋など、高い全国シェアを持つものもある。

(1) 経済構造



資料：内閣府「平成29年度県民経済計算」



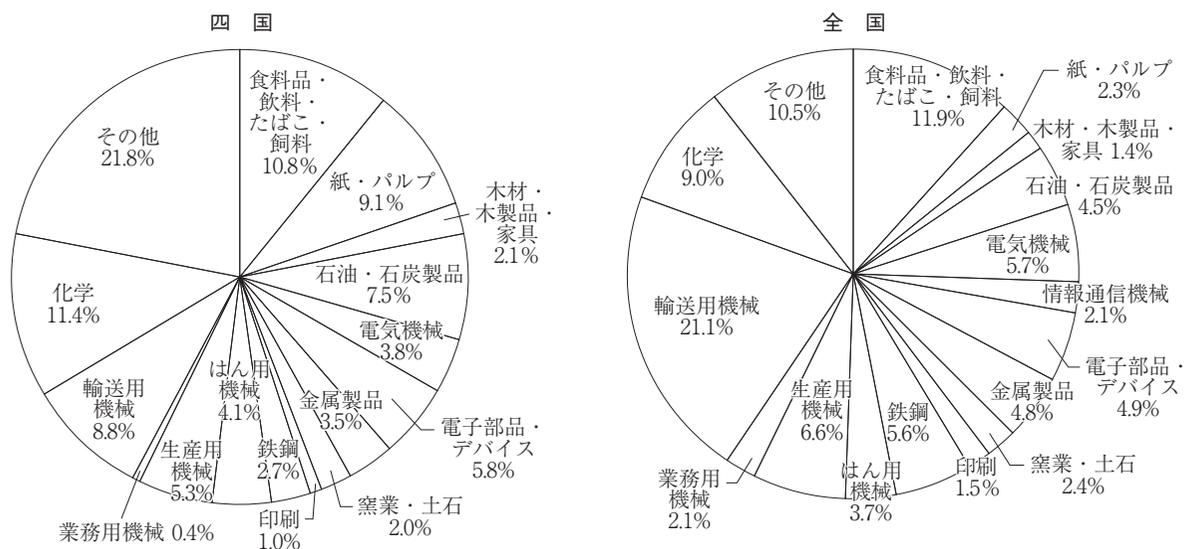
資料：内閣府「国民経済計算年報（令和元暦年）」

(2) 県民所得の各局別ウェイト

北海道	東北	関東	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州	福岡	沖縄
3.4	6.0	44.0	2.3	12.3	15.1	5.3	2.6	3.5	4.9	0.8

資料：内閣府「平成29年度県民経済計算」

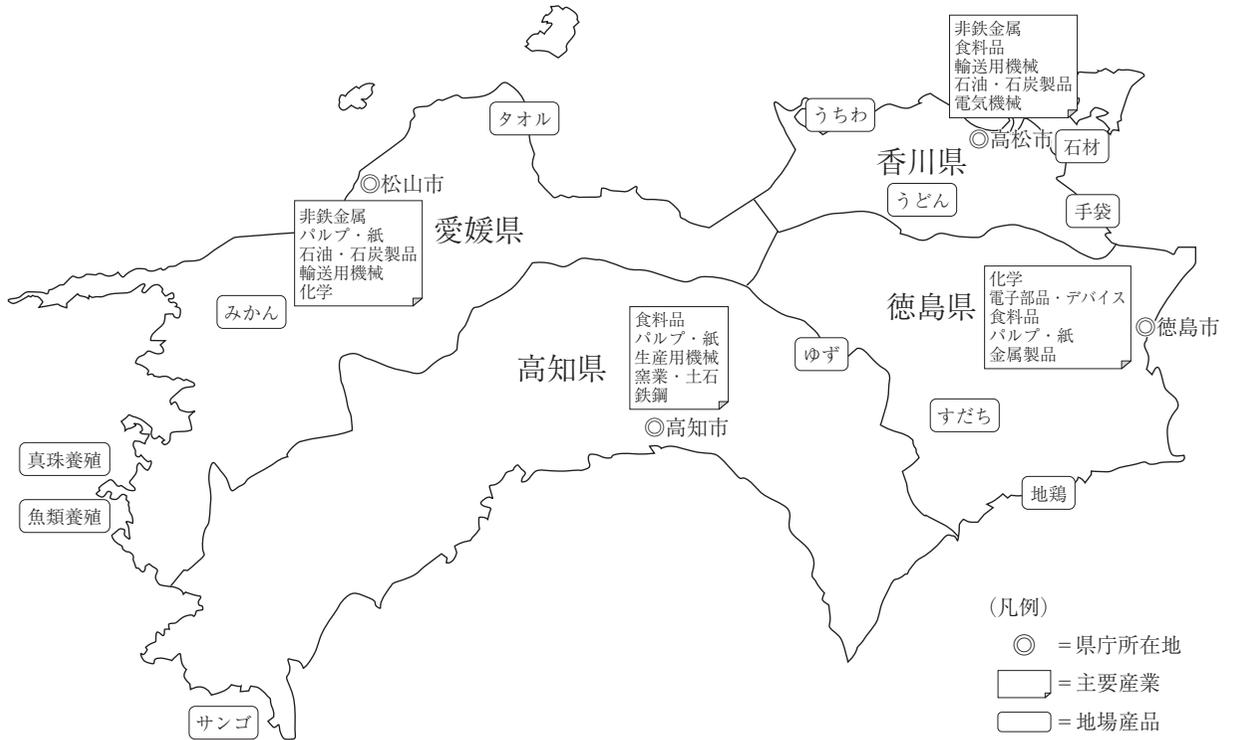
(3) 産業別構造



資料：経済産業省「2019年工業統計調査」

(注) 端数整理の関係で構成比の計があわない場合がある。

2. 管内の主要産業分布図



3. 特色ある経済指標

管内経済の規模は、概ね全国比3%前後のシェアとなっているが、養殖業が盛んなことから、漁業・養殖業産出額は全国の12%を占めている。域内総生産（実質）成長率をみると、概ね全国の成長率と同様の傾向が見られる。人口の推移では、全国よりも高齢化及び人口減少の割合が高くなっている。